

2017年5月17日
NTTアドバンステクノロジー株式会社

事務作業の自動化ツール「WinActor」に英語版登場！ ～ RPA ツールとして外資系や海外企業への導入を視野に ～

NTTアドバンステクノロジー株式会社(以下 NTT-AT、本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:木村文治)は、2014年から販売していた「WinActor(ウインアクター)」の英語版を5月22日(月)から販売開始いたします。これにより、外資系企業や海外企業の皆さまにもご利用いただけます。

「WinActor」は、働き方改革、業務の効率化を検討する企業への貢献するツールとして最近注目されているRPA^{*1}ツールのひとつであり、金融業から物流・小売業と幅広い分野の企業に導入されています。このたび、パートナー企業各社やお客様から、英語版を開発してほしいという強いご要望をいただき、「WinActor」の英語版を販売いたします。

*1) ロボティック・プロセス・オートメーション

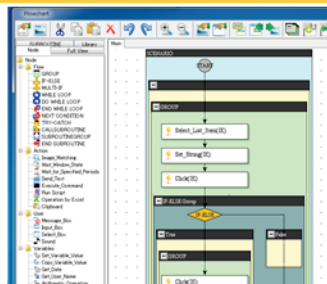
■WinActor について

「WinActor」は、Windows®アプリケーションの操作を簡単に自動化し、業務の効率化を図ります。これにより、これまで人手でないとできないと思われてきた複数システムにまたがるデータの投入を自動化し、人手作業における効率を大幅に改善します。

同様に、業務システムが個別に開発され、システム間で連携できずに人手による処理量が多い場合や、作業は単純でもノウハウが必要なため初心者の作業効率が上がらない場合にも効果を発揮します。

「WinActor」は、業種や会社の規模に関わらず、幅広い業務で活用いただけます。今回の英語版販売開始により、日本で好評だった「WinActor」のさまざまな機能を海外オフィスでも活用いただけるようになります。

操作手順



① Windowsアプリケーションの見本動作を実施することで、フローチャート形式のシナリオを自動作成。

② フローチャート形式のシナリオを画面上で編集。プログラミングスキルは不要。

③ WinActorの実行ボタンを押下するだけで見本動作通りの作業を実行。シナリオを複数PCに複製することで並行作業可能。

*「WinActor」は、NTT 研究所の技術を元に、NTT-AT で製品化した商品です。

■導入事例

「WinActor」の導入事例を紹介します。

- 受発注計画書データのシステム投入(データ入力の作業量を**95%削減**)
計画書(Excel)の内容を複数の社内システム(電子決裁と経理システム)へ自動入力。
- EC サイト、SNS サイトの商品情報更新(数千件/月の作業を**完全自動化**)
商品伝票(Excel)を読み込み、EC サイト、SNS サイトの商品情報を入力の上、アップロードするまでを自動化。
- 注文書のシステム投入と発注伝票作成(データ入力と伝票作成の作業を**75%削減**)
大量の注文書を受注管理システムに自動投入。さらに、システムからデータを取り出し、不要な情報をマスキングして発注伝票作成を自動で実施。
- 小売りチェーン店における商品要望書のシステムへの登録作業と結果レポート作成(要望書の登録作業、及び、管理システム開発が不要。)
従来、企画部門が取りまとめを行っていた多数店舗からの商品に関する要望書を、要望書が店舗から特定フォルダに提出されたタイミングで管理システムに自動登録。結果を企画部門にレポートする作業まで自動化。
- 開発試験データ入力と試験成績書(データ入力の作業を**95%削減**)
試験データを開発システム画面に入力し、画面遷移を評価、評価結果を試験成績書に記載。

■今後の展開

今後、英語版を販売することで、2017 年度に 3 億円の売り上げを見込みます。

※記載された商品名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本件に関するお問い合わせ先

NTTアドバンステクノロジー株式会社
グローバル事業本部 グローバル営業部門 /
ソリューション第二事業本部 ビジネスロボティクスビジネスユニット

WinActor 担当 TEL : 044-589-5894
E-mail : rpatool@ml.ntt-at.co.jp